【総括表】

用途	公園施設

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	鞍ケ池緑地	矢並町	民間活力の導入・大規模修繕	Ｐ－ＰＦＩ等の導入
2	古瀬間墓園	古瀬間町	現状維持	
3	西山公園	西山町	現状維持	

2　計画期間

2021 年度から 2026 年度までの 6 年間とする。

3　目標使用年数

原則、目標使用年数は 57 年以上とする。

4　対策の優先順位の考え方

対策の実施にあたっては、施設の劣化状況や点検・診断結果等を踏まえ、財政負担の平準化等も考慮しながら、計画的に行うものとする。

【個別表】

1	施設名	鞍ケ池公園

1　施設の概要　（2020 年 3 月 31 日時点）

所在地	矢並町	延床面積	6,200.17m2

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
（サクラエン）休憩所	W 造	1965	12.00	1 階	
（音楽）レッスン場	RC 造	1972	59.00	1 階	
グリーンホーム	RC 造	1975	126.18	1 階	
タイガー舎	RC 造	1979	136.38	1 階	
管理事務所	RC 造	1981	205.38	1 階	
管理棟（小動物園）	RC 造	1982	27.80	1 階	
シマウマ舎	RC 造	1982	41.60	1 階	
ラクダ舎	RC 造	1982	39.80	1 階	
ヤギ舎	RC 造	1982	27.50	1 階	
シカ・ダチョウ舎	RC 造	1982	51.80	1 階	
スイキイ舎	S 造	1984	397.50	1 階	
カンガルー舎	S 造	1984	22.96	1 階	
管理棟（小動物園）	RC 造	1985	293.11	1 階	
大型鳥舎	RC 造	1985	77.45	1 階	
猿舎	RC 造	1986	140.25	1 階	
新トラ舎	RC 造	1987	119.50	1 階	
育すう舎	RC 造	1987	64.80	1 階	
ロバ舎	S 造	1989	194.97	2 階	
動物舎（ふれあい広場）	RC 造	1990	79.56	1 階	

植物園	RC造	1991	1,342.33	2階	
舟遊場管理事務所	S造	1993	33.67	1階	
牛舎（観光牧場）	W造	1967	297.52	1階	
カナダヅル舎	RC造	1982	58.20	1階	
倉庫	S造	1987	350.26	2階	
さくら園便所	W造	1997	18.02	1階	
植物園前便所	RC造	1997	25.70	1階	
ロッジ前便所	RC造	1999	23.40	1階	
展望台園地便所	W造	2000	21.45	1階	
プレイハウス	S造	2004	1,160.70	2階	
四季の古里管理棟	S造	2005	156.25	1階	
車庫	S造	2005	250.00	1階	
展望台（ＰＡ）	S造	2004	64.73	1階	
トイレ（HWO）	RC造	2004	117.44	1階	
芝生広場トイレ	RC造	2005	44.00	1階	
四季の古里トイレ	RC造	2005	40.50	1階	
北駐車場トイレ	RC造	2005	72.50	1階	
ふれあい動物園トイレ	W造	1994	4.96	1階	
舟遊場トイレ	LWS造	1968	1.00	1階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
平成２９年度に実施した個別施設計画立案時の点検において施設老朽化が明らかとなり、とりわけ動物園エリアの建築物は経年劣化による不具合が確認される。個別施設計画に基づく大規模修繕の実行までは緊急修繕による応急処置で対応している。 また、令和３年度より民間活力導入事業により新たな施設としてキャンプフィールド（レストラン、サニタリー棟、小屋）、サービスセンターが新設されるものの、これらは個別施設計画に未反映。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検(日常点検、保守点検、法定点検等)の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検の結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
☑：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
動物園エリアの施設老朽化が著しいため単なる施設修繕でなく、今後の動物園のあり方検討のうえ方向性を出し、それを踏まえて施設更新、複合化、集約化、一部廃止を促進する。
☑：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
動物園エリア及び既存管理事務所以外は指定管理制度を導入するものの、市が民間に健全な施設を提供することが前提であり、民間活力の導入による事業推進や運営改善は限定的。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
設備の更新においては、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用(イニシャルコスト)だけでなく、維持管理を含めた費用(ランニングコスト)の縮減に努める。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項
大規模修繕等の対策を実施する際は、運営を担う指定管理者の意見を聴くなど考慮が必要。

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

2	施設名	古瀬間墓園

1　施設の概要　（2020 年 3 月 31 日時点）

所在地	古瀬間町	延床面積	260.07m2

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理事務所(本館)	RC 造	1998	260.07	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
建設から３０年が経過しているおり、外観及び内観の目視点検と機能点検において、経年相応の劣化が多数確認される。 建物外部においては、躯体ンクリートのひびわれや外壁塗装の経年による汚れ等の損傷が見られるが、比較的軽微な損傷である。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検(日常点検、保守点検、法定点検等)の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検の結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

	設備の更新においては、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用(イニシャルコスト)だけでなく、維持管理を含めた費用(ランニングコスト)の縮減に努める。

（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

3	施設名	西山公園

1　施設の概要　（2020 年 3 月 31 日時点）

所在地	西山町	延床面積	335.00m2

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理事務所(本館)	RC 造	1976	335.00	1 階	
資料棟	S 造	1984	328.00	2 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
建設から４０年が経過しているおり、外観及び内観の目視点検と機能点検において、経年相応の劣化が多数確認される。また、雨漏りも数か所発見されている。 建物外部においては、躯体コンクリートのひびわれや外壁塗装の経年による汚れ等の損傷が見られるが、比較的軽微な損傷である。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検(日常点検、保守点検、法定点検等)の観察により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。点検の結果、耐用年数を踏まえた適正な修繕により安全性を確保する。
☑：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
特になし。
☑：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
特になし。
☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減

	設備の更新においては、既存設備よりもメンテナンス頻度の少ない設備やエネルギー消費量の少ない設備に更新を検討し、初期費用(イニシャルコスト)だけでなく、維持管理を含めた費用(ランニングコスト)の縮減に努める。

（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。